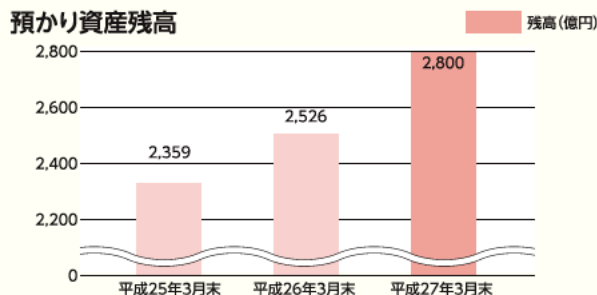
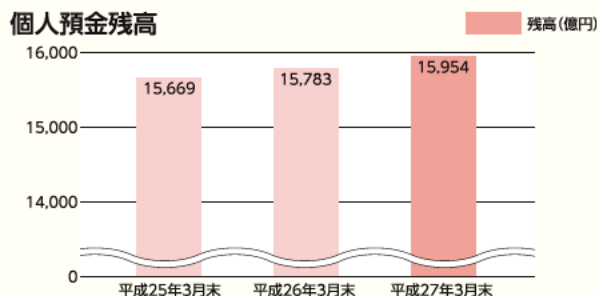
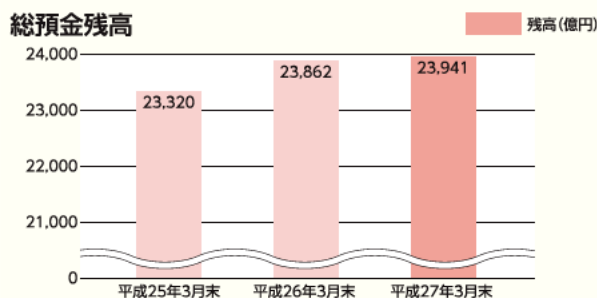


# 業績ハイライト

## 預金の状況

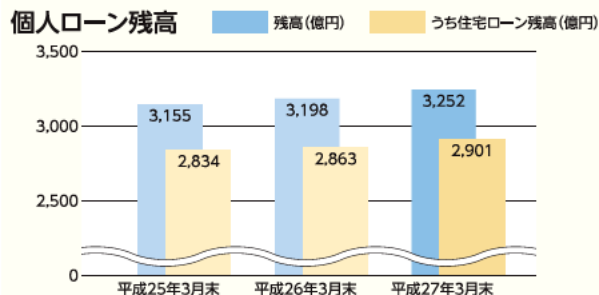
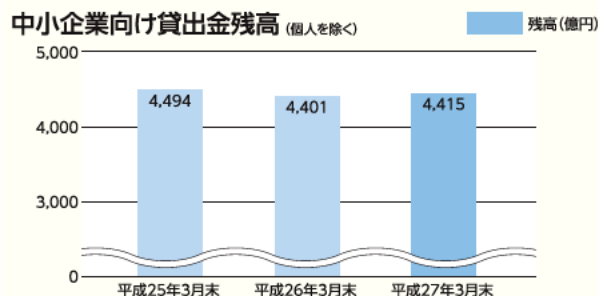
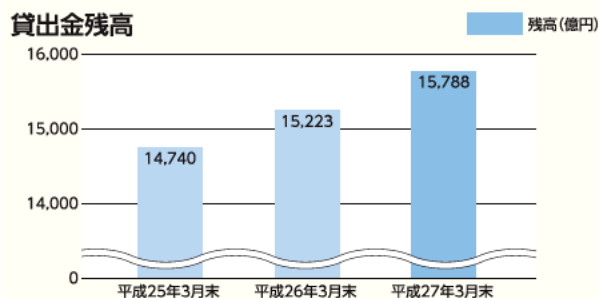
平成27年3月末の預金は、公金預金は減少したものの、個人預金が引き続き堅調に推移したことから、譲渡性預金を含めた総預金残高は、2兆3,941億円(前期比0.3%増)となりました。

平成27年3月末の預かり資産残高は、投資信託や個人年金保険等への取り組みを強化した結果、2,800億円(前期比10.8%増)となりました。



## 貸出金の状況

平成27年3月末の貸出金残高は、公共貸出金をはじめ、一般貸出金、個人ローンといずれも増加したことから、1兆5,788億円(前期比3.7%増)となりました。

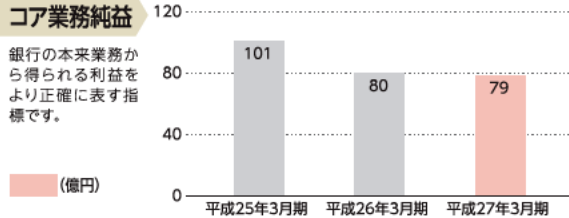


## 損益の状況

コア業務純益は、運用利回りの低下により貸出金利息は減少したものの、手数料収入の増加や経費削減等により前期とほぼ同水準の79億円となりました。経常利益は、有価証券関係損益の増加等により、前期比14億円増益の91億円となりました。また、当期純利益についても前期比3億円増益の49億円となりました。

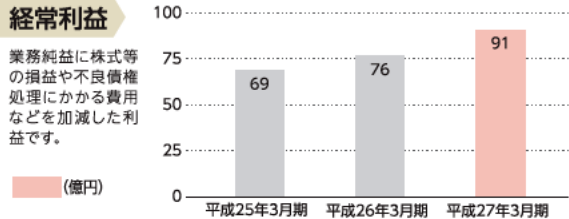
### コア業務純益

銀行の本来業務から得られる利益をより正確に表す指標です。



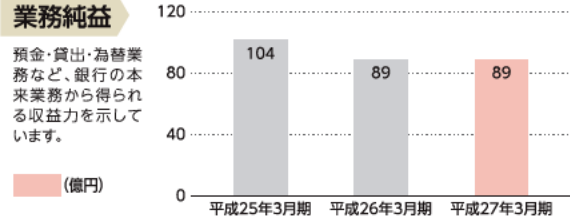
### 経常利益

業務純益に株式等の損益や不良債権処理にかかる費用などを加減した利益です。



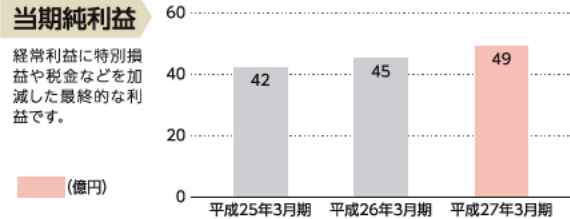
### 業務純益

預金・貸出・為替業務など、銀行の本来業務から得られる収益力を示しています。



### 当期純利益

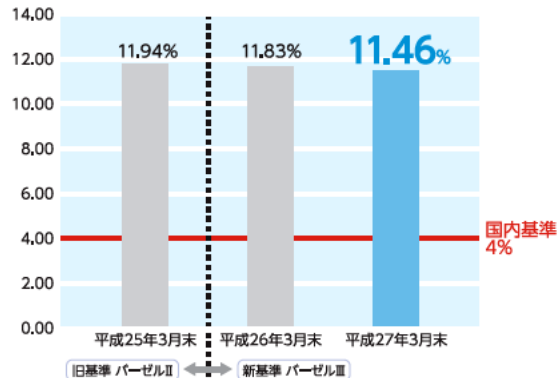
経常利益に特別損益や税金などを加減した最終的な利益です。



## 自己資本比率

平成27年3月末の自己資本比率は11.46%となりました。引き続き国内基準である4%を大きく上回っております。

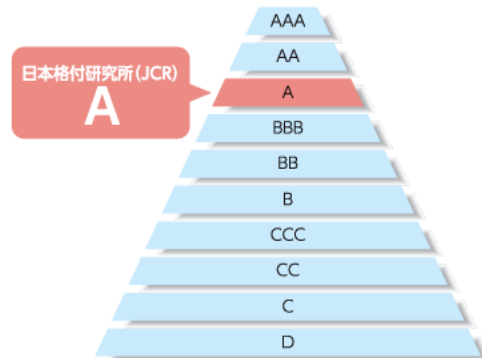
なお、平成26年3月末より新しい自己資本比率規制(バーゼルⅢ)に基づき自己資本比率を算出しております。



## 格付け

当行は、格付けについて公正で権威ある日本格付研究所からA格付け(長期発行体格付)を取得しており、安全性について高い評価を受けています。

(平成27年3月末現在)

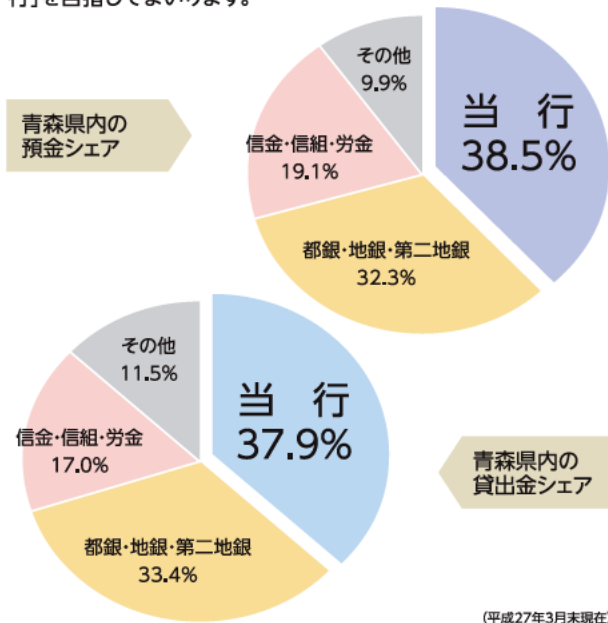


# 県内シェア・ATMネットワーク網

※記載金額は表示している単位未満を切り捨てています。また、構成比率、増減率、その他の比率は、表示している数値未満を切り捨てています。

## 預金・貸出金の県内シェア (ゆうちょ銀行を除く)

お客様の高いご支持により、青森県内において、預金・貸出金ともトップシェアを保持しています。創業より130余年にわたり、皆さまから信頼され続けた結果であり、引き続き「信頼される銀行」を目指してまいります。

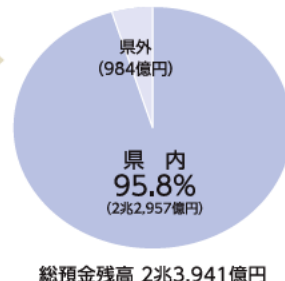


## 預金・貸出金の県内比率

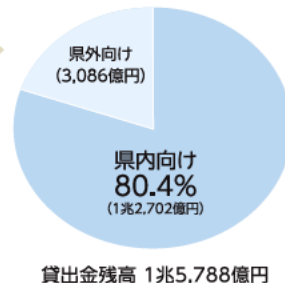
当行預金の県内比率は95.8%であり、大半は地元青森県内のお客様からお預かりしたものです。一方、貸出金の県内比率は80.4%となっています。

(平成27年3月末現在)

### 預金の県内比率



### 貸出金の県内比率



## ATMネットワーク網

当行設置ATM(県内243ヵ所、県外6ヵ所)のほか、共同ATM(県内39ヵ所、県外1ヵ所)や、他金融機関とのATM提携およびコンビニATM提携により、青森県内外の様々な場所で当行のATMサービスをご利用いただけます。

### ●ATM提携の状況 (平成27年3月末現在)

あすなるネット	県内ATM網の相互補完。【提携先】県内全信用金庫・青森県信用組合・JAバンク青森・東北労働金庫(県外ATMを含む)
AAIネット	北東北3行ATM網の相互補完。 【提携先】岩手銀行・秋田銀行
北洋銀行	北海道、青森県ATM網の相互補完。
北海道銀行	北海道、青森県ATM網の相互補完。
ゆうちょ銀行	当行ATM未設置町村の当行のお客さまの利便性向上。

イーネット	全国のファミリーマート等でご利用いただけるコンビニATM「イーネット」との提携。
セブン銀行	全国のセブン-イレブンやイトーヨーコーダー等でご利用いただけるセブン銀行ATMとの提携。
バンクタイム	サークルKやサンクス等でご利用いただけるコンビニATM「バンクタイム」との青森県内提携。
ローソンATM	全国のローソン等でご利用いただけるコンビニATM「ローソンATM」との提携。
イオン銀行	全国のイオングループ各店(マックスバリュ、ミニストップ等)でご利用いただけるイオン銀行ATMとの提携。
他業態とのATM提携	クレジットカード19ブランドの払出業務等に関するATM開放。うち7ブランドは入金サービス業務も提携。

# 不良債権の状況

## 金融再生法に基づく開示債権

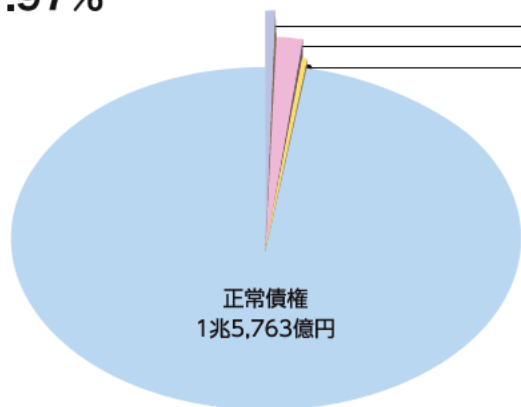
平成27年3月末の正常債権を除く開示債権は、318億円となりました。

また、総与信額に占める割合は、1.97%となりました。



開示債権(正常債権を除く)の割合

**1.97%**



総与信額 1兆6,081億円

(単位：億円)

	平成26年 3月末	平成26年 9月末	平成27年 3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	75	46	59
危険債権	242	247	220
要管理債権	42	34	38
小計	360	329	318
正常債権	15,168	15,359	15,763
合計	15,528	15,689	16,081

### 破産更生債権及びこれらに準ずる債権／59億円

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権。

### 危険債権／220億円

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権。

### 要管理債権／38億円

3か月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権。

合計／318億円

(平成27年3月末)

## 金融再生法開示債権の保全状況 (平成27年3月末)

正常債権を除く開示債権額のうち87.8%は、引当金や担保等によって保全されています。

(単位：億円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)	保全率 (B/A)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	59	59	100.0
危険債権	220	194	88.1
要管理債権	38	26	67.8
合計	318	279	87.8